

2006 年度

科目名 教育実習指導（地理歴史）	対象学科・学年 文学部文財4回生	担当者 三宅 奎介
授業テーマ 中学校教育実習の意義理解と教職への一体感の形成について		
授業の概要と目標 教育実習は大学における教育職員養成過程の基礎として、中学校の教育現場に臨み、直接的・体験的に実施する課業である。本講座では教育実習を事前・実施・事後のまとまりに位置づけ、教員を志すものとして自らの生き方と重ね合わせ、その資質能力を高めるとともに教職への一体感を培う。従って、教育実習の事前授業では「教育実習の意義・内容・方法」、を事後の授業では「体験に基づく教職観」について研究し、その修得を図る。		
評価方法 ①学習カード ②小論文 ③教育実習終了報告書 ④教育実習自己評価票 ⑤学期末試験		
テキスト 中学校学習指導要領（平成15年12月改正）	著者 文部科学省	出版社 国立印刷局
参考書 教職概論 教師をめざす人のために	著者 佐藤晴雄	出版社 学陽書房
授業スケジュール・内容		
講		授 業 内 容
1		教職課程・教育実習の意義を理解する。
2		教育実習の場である中学校の学校運営について知り、実地研修の観点について理解する。
3		事前の準備、中学校訪問の心得等、その要諦を知る。
4		実地研究の観点や学習指導案作成と授業指導の心得等々について理解を深める。
5		実習計画・資料をもとに、教育活動と実習生の実務について知る。
・ 5月上旬～中旬		実習校への挨拶・打ち合わせ訪問(各自) ※後期実習生一ヶ月前
・ 5月下旬		教育実習生を対象に人権教育研修会「人権教育の推進について」を研修する。
・ 前期・後期		中学校教育実習（学校教育活動について）
・ 前期・後期		中学校教育実習（生徒理解と方法について）
・ 前期・後期		中学校教育実習（授業指導について）
・ 前期・後期		中学校教育実習（研究授業とその考察について）
6		実地研究のまとめ・発表と講評指導。※ 実習終了報告書の提示
7		講演「中学校教員になって」現職教員から学ぶ
8		改革が進行する現代の学校教育と期待される教師像について考察する。
9		自らの教職志向について考える。「教育実習指導」学習の自己評価
◆ 教育実習指導の全体評価をもとにして、特別補講（講演会や授業実技研修会等）をすることがある。 ◆ 「教職研究」で使用した教科書を参考図書とする。		